

第8回宮古市新型コロナウイルス感染症暮らし・経済対策本部会議概要

日 時 令和2年5月21日(木)
午後3時40分から4時25分まで
会 場 本庁舎4階災害対策本部室

<出席者>

- (本部員) 市長、両副市長、教育長、総務部長、企画部長、市民生活部長、保健福祉部長、都市整備部長、上下水道部長、危機管理監、議会事務局長、教育部長、会計管理者
(幹事他) 総務課長、財政課長、税務課長、企画課長兼公共交通推進課長、秘書課長、総合窓口課長、環境生活課長、福祉課長、こども課長、産業支援センター所長、産業支援センター主幹、観光課長、建設課長、経営課長、危機管理課長、教委総務課長、各総合事務所長
(事務局) 総務課長、総務課行政係長、総務課主査

1 開会

2 協議・決定内容等

(1) 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う暮らし・経済対策について

①実施状況について

- ・特別定額給付金事業の振込状況は、5/20 現在 3,700 件 (8 億 6,120 万円)、給付率 15.72%。先行受付については、5/17 に受付を終了し、受付件数は約 600 件。
- ・5/20 現在、中小事業者向けの市独自支援策の状況は、事業継続給付金が 871 件を申請受付、うち振込確定分は 718 件 (143,600 千円)。家賃補助金は 104 件を受付、うち振込確定分は 79 件 (14,394 千円)。事業収益確保事業補助金は約 100 件の相談件数、今後申請が出てくる見込。

②新規事業等について

- ・事業収益確保事業補助金について、当初、備品購入費や工事費は対象としていなかった。しかし、相談を受ける中で飲食店における空気清浄機の購入、店内のレイアウト変更等環境整備の相談が多いことから、対象経費について見直しを行うこととする。
- ・観光宿泊施設等緊急支援事業について、34 事業者 (宿泊業 24、観光バス 3、タクシー7) に対して来週以降手続を開始し、6 月上旬の支給を目標に進める。
- ・「プレミアム付地域商品券」について、飲食店など感染症による影響が特に大きかった事業者支援ができる制度を構築すること。
- ・大学生等修学継続支援事業について、必要に応じて学校や同窓会等に協力依頼を行って対象者に対して郵送による周知案内を行うなど、支援が行き渡るように進めること。
- ・今後の支援策の準備として、第1次産業 (農林水産業) への影響について状況把握を進めておくこと。

(2) 相談窓口の状況

- ・4/2 に相談窓口を設置して以降の相談件数は次のとおり (件数は、5/19 までを集計)。
 - ア 市民の暮らしに関する相談窓口 1,412 件 (前回比 960 件増) ※特別定額給付金、事業者関連制度案内など。
 - イ 事業者の経営・雇用に関する相談窓口 229 件 (前回比 9 件増) ※売り上げ減少に伴う支援制度情報、雇用相談など。
- ・市民の暮らし相談窓口では、ほぼ特別定額給付金に関する相談である。
- ・事業者相談窓口では、主に申請手続に関する相談である。

(3) その他

- ・次回本部会議は、5月28日（木）午後3時30分から行うこととして調整する（会場は、本庁舎4階災害対策本部室）。

3 閉会